

第1回 石狩川開発建設部遊水地事業監理委員会 議事要旨

【開催日時】 平成21年1月15日(木) 9:30~11:15

【開催場所】 寒地土木研究所 講堂

【委員】 内田 和男(北海道大学大学院 経済学研究科 教授)
◎加賀屋 誠一(北海道大学大学院 工学研究科 教授)
黒木 幹男(北海道大学大学院 工学研究科 准教授)
秀島 好昭(寒地土木研究所 寒地農業基盤研究グループ長)
吉井 厚志(寒地土木研究所 寒地水圏研究グループ長)
※◎は、委員長(50音順)

【議題】

1. 委員会の設立

- (1) 設立及び規約の審議
- (2) 委員長の選出

2. 議題

- (1) 事業内容の説明
- (2) 事業の進捗状況

【議事要旨(委員会意見)】

《委員会の設立》

- ・ 委員からの了承を頂いて、本日付で規約とする。
- ・ 委員からの互選により委員長を選出。

《事業の進め方について》

- ・ 事業行程どおり事業を進めるには、事業着手、用地等取得のため、地権者だけではなく、地域との調整が必要である。
- ・ 千歳川は石狩川の整備と相まって効果を発揮する河川であり、事業計画は本川の整備スケジュールと合わせた事業監理と、その効果の把握と周知が重要である。
- ・ 内水被害の関係から、昭和50年、56年洪水における浸水実績と遊水地の配置を確認すること。
- ・ 千歳川流域の課題である内水対策についても、事業を進めるにあたっては、農業事業と調整するなど内水被害の軽減が図られるよう検討してほしい。
- ・ 遊水地の補償の考え方を住民に分かりやすく説明し進めること。

《コスト縮減について》

- ・ 地域の方々が宝物と思えるような利活用が必要。住民が参加し維持することにより、コストの縮減も出来る。

《技術的な留意点について》

- ・ 当該地区は、軟弱地盤であり地震時の対応も含めた周囲堤の検討を行うこと。
- ・ 高盛土の道路を二線堤として活用する考えもある。

《リスク管理について》

- ・ 遊水地は治水対策としてセカンドベストだということを住民にしっかり伝え、元々水害の起こりやすい地域特性であり、遊水地が出来たから安全というのではなく、リスク管理も大切だということを常々伝える必要がある。

《整備後の管理について》

- ・ 平常時の利活用については、将来に向けた土地の利用や管理を事前に検討することが重要である。
- ・ 遊水地内に水面が広がる場合には、食害の軽減方策についても検討してほしい。
- ・ 遊水地の平常時利用は、害虫や食害、土地管理、水管理など課題がある。
- ・ 農業の生産性や管理に関する進んだ技術情報も参照に、事業を進めることが地域での理解が深まりやすい。

《委員会の進め方について》

- ・ 次回以降、議論しやすいようにテーマを整理し委員会を進める。

以上